

萬鉄五郎 書簡展

——手紙と絵画でたどる心の軌跡——

日本近代美術を代表する前衛画家、萬鉄五郎^{よろずてつごろう} (1885-1927) は生前、様々な美術雑誌に、展覧会評や詩稿などを寄稿しています。それらは、未発表の文章や主な書簡類とともに『鉄人画論』(中央公論美術出版) にまとめられており、萬の造形観や思索の手がかりとなる貴重な資料となっています。

なかでも、萬が知人や家族へ宛てた手紙には、生活ぶりや、その時々的心情といったことがしたためられています。少年時代に水彩スケッチにのめりこんだこと。アメリカ滞在時に住み込んだ家庭の様子。生活に困窮し、実家に援助を求めたこと。自らの健康状態のこと。展覧会や美術団体の設立に、尽力している様子。そしてなによりも、絵画制作への意欲が綴られています。これらの書簡は、謎めいた萬作品の制作背景をひもとくヒントといえるでしょう。

本展覧会は、萬鉄五郎がしたためた手紙や葉書など、書簡資料約80点を公開するとともに、それらに関わる作品や資料を展示し、作品だけからではうかがい知れない画家の日常や、思索にせまりたいと思います。

☆関連事業

第31回 萬鉄五郎祭

日時:5月1日(日) 10:00 ~ 16:00

会場:萬鉄五郎記念美術館

[式典] 14:00 ~ 14:30 献花、「鉄人独語」朗読など

[お茶会] 10:00 ~ 16:00 お茶券1,000円(一席・二席共通、美術館入館料含)

[記念講演会] 14:30 ~ 15:30 「萬鉄五郎と私」

講師:千葉瑞夫氏(萬鉄五郎記念美術館前館長)

萬鉄五郎祭写生会

日時:4月24日(日) 9:00 ~ 12:00

参加費:材料代として500円(完成作品をエコバッグにプリントしてプレゼント)

萬鉄五郎祭写生会 展示会

日時:4月26日(火)~5月8日(日)

9:00 ~ 17:00(最終日は15:00まで)

会場:土沢商店街

内容:本年写生会参加者の作品と、平成6・7年参加者の作品をあわせて展示



1



3



4



6



8



2



5



7



9

1. 萬鉄五郎書簡「早稲田風景」1903(明治36)年11月2日
2. 萬鉄五郎書簡「アメリカより」1906(明治39)年6月22日
3. 萬鉄五郎「アメリカ風景」水彩・鉛筆・紙 1906(明治39)年
4. 萬鉄五郎書簡「松島屏風」1918(大正7)年12月8日
5. 萬鉄五郎「松島屏風」油彩・画布 1918(大正7)年
6. 萬鉄五郎「自画像」油彩・画布 1915(大正4)年 岩手県立美術館
7. 萬鉄五郎書簡「髻子と命名」1917(大正6)年10月19日
8. 萬鉄五郎「秋景農夫図」紙本墨画 1925(大正14)年頃
9. 萬鉄五郎「曇天砂丘」水彩・鉛筆・紙 1923(大正12)年



YOROZU Tetsugoro Memorial Museum of Art

萬鉄五郎記念美術館